

# 介護保険

## 改悪ストップ A Q

⑧

### Q 制度を続けるため?

安倍政権が介護保険見直しを進める口実にして、可能性を高めていく」とです。

2000年に介護保険制度が発足した当初、全国平均で月2911円だった65歳以上の保険料は、現在4972円。2000年には8200円程度に上昇するとして、"制度の存続が危ぶまれる"という警戒文句で、大改悪を迫っているのです。

しかし、サービス切り捨てと負担増を進めた結果、"保険あつてサービスなし"といわれるような危機的な状況を生んだ

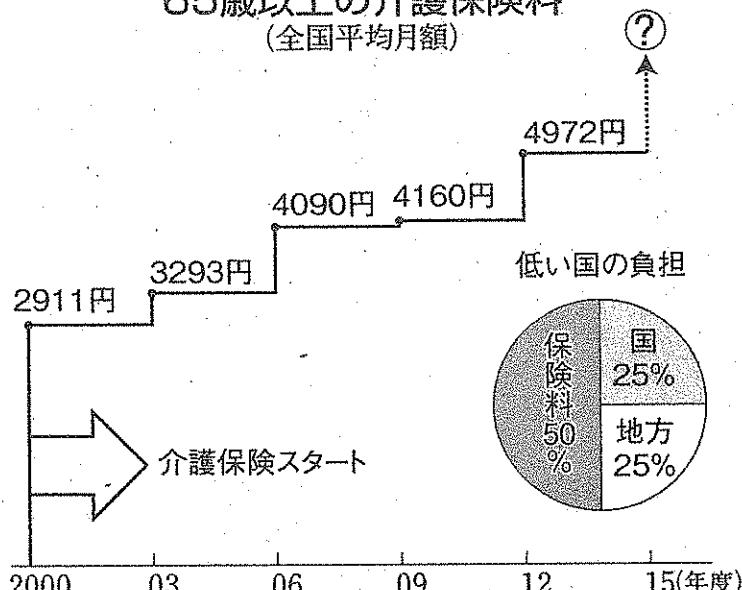
のは、歴代政権の責任です。改悪は撤回し、拡充しているのは、「制度の持続」に向けて抜本的な見直しを行なうことこそ必要です。

保険料が値上がりし続けるのは、国庫負担の割合が低く抑えられているためです。介護保険導入時、それまで介護費用の50%だった国庫負担割合は25%に削減され、保険料で50%をまかなうこととされました。その後、施設費用への国庫負担は20%にまで引き下げられました。このために介護保険料・利用料の減免と介護内容の充実、介護労働者の待遇改善を同時に進められます。

財源を消費税に頼る必

## A 国費を増やすことこそ

65歳以上の介護保険料  
(全国平均月額)



(つづく)